

飛鶴の森林から

第57号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

第11回 森林再生小委員会



↑ 小委員会会議の様子 ↓



11月25日(金)、釧路湿原自然再生協議会第11回森林再生小委員会が開催されました。森林再生小委員会は協議会の下に設置された六つの小委員会の一つで、森林の再生に関する計画とその実施状況、モニタリング結果を検討します。

当日は、釧路湿原流域内で地域の環境に配慮した手法でカラマツ人工林施行を行っている鶴居村森林組合の森林・林業再生プラン実践地を事例地として視察しました。

午後からは、釧路地方合同庁舎に戻って会議を行い、個人委員2名、団体委員7名及び関係行政機関が参加し、国有林の雷別地区自然再生事業及び環境省の達古武地域自然再生事業について説明の後、意見交換を行いました。



↑ 鶴居村森林組合
作業現場の視察 →



国際森林年 親子 木とのふれあい 「木育・森づくりパネル展」 開催

11月12日(土)・13日(日)、イオン釧路昭和ショッピングセンター1階サンコートで、釧路地域の森づくりや緑づくりを知ってもらおうと釧路町村会で構成する地域づくり広域プロジェクト環境保全型森づくりPTと釧路総合振興局管内の市町村などで構成するくしろ森と緑の会が主催して、2011年国際森林年を記念した「木育・森づくりパネル展」が開催されました。

当センターでは、12日に行われた木育工作体験コーナーに出展し、子どもらに巣箱作りに挑戦してもらいました。

また、この他に木の輪切りを使って絵を描いて作る木のコースターやマグネット作りなどを行う「木とのふれあいコーナー」や木の玉プールや木製玩具で遊ぶ「木育広場」なども設けられ、多くの家族連れでにぎわいました。



↑ 「木育工作体験コーナー」
巣箱作りにチャレンジ

巣箱を完成させて
喜ぶ子供たち →



2011・国際森林年

科学の祭典「サイエンス屋台村」

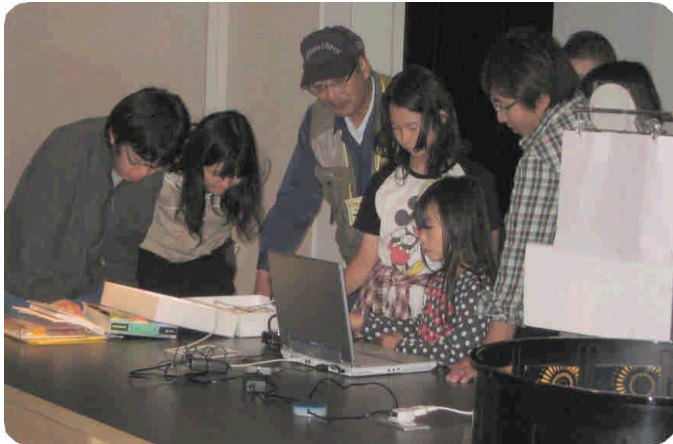


11月3日(木:文化の日)、釧路市こども遊学館を会場に、青少年のための科学の祭典釧路大会サイエンス屋台村(主催:NPO法人北海道科学活動ネットワーク)が開催されました。

この催しは、科学教育者などが実験を通じて児童・生徒に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的に、北海道教育大学釧路校等の教育機関や釧路地方気象台等の行政機関16団体・29ブースを設け、主に物理、科学分野の演示実験や体験教室を行いました。

当センターは、稚樹、葉、種子のアクリル見本をデジタル顕微鏡を用い細部まで観察を行う、数少ない生物分野の体験ブースとして出展しました。

参加した児童・生徒達は、目にすることがあっても、じっくり見たことのない紅葉した葉やミズナラのドングリ、オニグルミの実等の色や形に大変興味を示し、自ら機械を操作して拡大倍率を上げると「すごい!」、「ごっごっしてる!」などおどろきの声をあげながら観察していました。



↑ 次はどれを見ようかな・・・?



これはねこうやると大きく見えるんだよ ↑



第4回「雷別ドングリ倶楽部」活動

11月30日(水)、会員12名が参加して今年度4回目の活動を行いました。今回の活動は①「飾り炭作り」、②「炭焼き」、③「枝打ちと保育間伐作業」を実施しました。

飾り炭作りでは、定番となっている松ぼっくりの他にホオズキや小ぶりのカボチャ等を持ち寄り飾り炭作りに挑戦しました。



ホオズキは綺麗に飾り炭となりましたが、カボチャは初めてなのであまり上手にできませんでした。

炭焼きでは、炭にする材料を炭窯の長さ切る作業から行いました。また、まさかりを使用して窯でつかう薪作りも行いました。

枝打ちと保育間伐では、直径10 cm から16 cm に成長したアカエゾマツの下枝をノコギリを使って切り落としたり、立派な森林になるようにと願いを込めて間伐作業を行いました。

(写真)

左: 薪割りに挑戦する会員

中: 飾り炭作成

右: 枝打ち作業



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

